

2023年度 公益財団法人大塚敏美育英奨学財団 奨学生応募書類チェックリスト

< 経営系 >

No.23-

※受付番号を記入すること
番号がないものは選考外

カタカナ	
氏名	
生年月日	西暦 年 月 日生
昨年度 受付番号	No.22-

チェック欄	提出書類
1	<p>< 経営系 > 奨学生願書 (当財団指定用紙を使用すること)</p> <p>※継続申請者は過去に応募した際の願書を書き写さないこと。前回の記述を一部でも書き写した者は選考対象外。黒インク又は黒ボールペンで記入のこと(消せるペン・青インクのペンは使用不可)。 【該当者のみ】日本語訳は様式は問わないが願書の各ページに対応させること。願書、日本語訳ともに両面印刷不可。1～10ページまで英語で書いたところすべてに訳をつけること。</p>
2	<p>推薦状 (推薦者が自筆で署名の上、密封して提出すること。2人以上推薦する場合は「推薦順位とその理由書」も同封のこと)^{注1}</p>
3	<p>写真1枚 (4.5×3.5cm、カラー、胸から上、正面で、応募前6ヵ月以内のものを願書に貼付のこと)</p>
4	<p>成績証明書 (原本またはコピー) (履修科目、単位数、点数、評価及びその説明のあるもの。合格、不合格の評価のみのものは不可。段階評価又は点数評価された直近の年のものを送付のこと^{注2}。成績証明書は1年分必要のため、直近のものが半年分の場合はその前年のものも添付すること。「成績通知書」「成績が出ないことの証明書」は不可)</p>
5	<p>在学証明書 (日本語で書かれた2023年4月1日以降のもの。コピー不可)</p>
6	<p>住民票の写し (募集開始日以降のもの)^{注3} (コピー不可。「国籍・地域」「在留資格等」が省略されたもの不可。マイナンバーが記載されたもの不可。外国人登録原票記載事項証明書の原本及びコピー不可。また、外国人登録証明書のコピーも不可)</p>
7	<p>【該当者のみ】他の奨学金及び研究助成金の支給団体名、期間、使途、金額等を証する写し (2023年4月～2024年3月にかかる期間で他の奨学金及び研究助成金を受給中、又は受給が決定している場合)</p>
8	<p>指導教員とよく相談の上、願書を記入しましたか？指定の5ヵ所に受付番号(申請の流れSTEP04参照のこと。成績証明書には受付番号に続けてカタカナで名前も記入すること)は書きましたか？加えて推薦状の入った封筒、願書を郵送する封筒等、すべての封筒にも受付番号を書いてください。</p>

注1.. 推薦者は在籍校で専門授業や研究指導を請け負っている方のみ

注2.. 在籍校で、合格・不合格の評価のみの成績証明書、または卒業まで評価が出ないものは、卒業した高校または大学の直近の成績証明書を添付すること(母国の成績証明書可)

注3.. 外国人登録原票記載事項証明書、在留カードのコピーは不可

2012年7月9日より「適法に3か月を超えて在留する外国人であって住所を有する者」について住民票が作成されているため、住民票以外のものは添付資料として認めません。

No. 23 -

奨学生願書 ＜経営系＞

写真貼付のこと
(4.5×3.5cm)
カラー・胸から上を近影
6か月以内のもの

※受付番号を記入すること
番号がないものは選考外

(継続申請者 No.22 - / 半年間の継続希望)

公益財団法人大塚敏美育英奨学財団

代表理事 大塚 一郎 殿

年 月 日

貴財団の奨学生として採用を希望しますので、所定書類を添付のうえ応募いたします。

①	フリガナ		②	年齢	満	歳		
	氏名			生年月日	西暦	年	月	日
	アルファベット表記			国籍				
	(母国語表記)							
氏名 (アルファベット大文字)								
Family name/Surname (姓) _____ , First name (名) _____ Middle name _____								
③ 所属機関	大学(院)名 / 機関名		学部・研究科		学科・専攻			
	学年(該当する課程に○すること)		学籍番号		指導教員名			
	学部 博士前期(修士に該当) 年 博士後期(博士に該当) (4年制)博士課程							
	日本への入国年月		入学年月		卒業・修了予定年月			
	年 月		年 月		年 月			
④ 学歴及び職歴	年	月	～	年	月	学歴(母国の最終学歴から記入)・職歴		
			～					
			～					
			～					
			～					
			～					
			～					
			～					
⑤ 外国人留学生担当部署及び担当者名	大学(院)内の外国人留学生担当部署			担当者名とフリガナ				
	課・センター			(フリガナ: _____)				
	担当部署(担当者)の連絡先電話番号			担当部署(担当者)メールアドレス				
	-			-				

⑥ 本人現住所	〒 —				
	最寄りの電車の駅		線 駅		
	自宅 ・ 学寮 ・ アパート ・ その他 []				
	携帯電話番号			電話番号(固定電話)	
	— —			— —	
	Email (PC) ※ 読みやすく書いてください				
⑦ 母国の住所	〒 —				
	TEL. — —				
⑧ 家族構成 (父母・配偶者・子・兄弟姉妹)	氏名	続柄	年齢	勤務先/ 学校名	自宅住所
					TEL.
					TEL.
					TEL.
					TEL.
					TEL.
					TEL.
⑨ 配偶者の収入 (配偶者がいる 場合のみ記入)	奨学金受給の有無				有 ・ 無
	支給団体名:				
	(月額・年額		円 / 受給期間: 年 月 ~ 年 月)		
給与(アルバイト等も含む)			円/月 (職種:)		

⑩ 生活費	家賃		生活費(食費・光熱費等) ※授業料・家賃は除く		
	円/月		円/月		
⑪ 収入等 (現状を正確に 記入すること)	月收入(アルバイト、TA、RA等)				
	有・無	円/月	(職種:)	(労働時間: 時間/週)	
	仕送り				
	有・無	円/月	(仕送り人続柄:)		
	現在受給中の奨学金 ※受給している場合は支給団体名、期間、金額等を証する写しを添付のこと				
	有・無	名称: 月額・年額	円(受給期間: 年 月 ~ 年 月)		
	その他収入(児童手当、貯金の取り崩し等もここに書くこと)				
円/月 (内容:)					
⑫ 授業料	前期の 減免状況	申請中・確定(全額/半額/____%)・不合格・申請していない 授業料免除制度なし・制度はあるが申請資格なし			
	授業料	円/年	今年度の 自己負担額	円	
	後期の 減免状況	申請予定(月)・申請中・確定(全額/半額/ %)・不合格 申請予定なし・授業料免除制度なし・制度はあるが申請資格なし			
⑬ 学業面	週に何日授業がありますか?		(対面・オンライン・両方) 日		
	土日を含め週に何日学校/研究室へ行きますか?(授業・研究等)			週	日
	主に授業がある/研究をするのはいつですか?		昼間・夜間・半々		
	平均して何時～何時まで大学(研究室)にいますか?		時	～	時
	担当教員とは週に何回面談しますか?		週	回	
	現在受給中の研究助成金 ※受給している場合は支給団体名、期間、金額等を証する写しを添付のこと				
	有・無	名称: 円(受給期間: 年 月 ~ 年 月)			
	過去の研究助成金受給実績 名称 / 月額・年額(○で囲む) / 受給期間				
名称: (月額・年額 円 / 受給期間: 年 月 ~ 年 月)					
⑭ 現在の奨学金 ・研究助成金 併願状況	申請先 / 申請中・確定 / 月額・年額(○で囲む)				
	名称: (月額・年額 円 / 受給期間: 年 月 ~ 年 月)	(申請中・確定 / 結果発表: 月 日)			
	名称: (月額・年額 円 / 受給期間: 年 月 ~ 年 月)	(申請中・確定 / 結果発表: 月 日)			
⑮ 過去の奨学金 受給実績 (当財団の実績 も記入すること)	名称 / 月額・年額(○で囲む) / 受給期間				
	名称: (月額・年額 円 / 受給期間: 年 月 ~ 年 月)				
	名称: (月額・年額 円 / 受給期間: 年 月 ~ 年 月)				

※ アルバイト等の収入や研究助成金の受給は可否に影響はありません。ただし収入と支出の明細が記入されていない、又はどのように生活が成り立っているかが読み取れない場合は選考対象外となります。

推 薦 状

被推薦者名

上記留学生は貴財団奨学生として適格な人物と認め推薦いたします。

但し、奨学生として採用された場合は、貴財団の諸規程を遵守するよう指導いたしますと共に、もし、給付停止の要件に奨学生が該当したときは、速やかに、その旨を貴財団に連絡することを確約いたします。

(推薦者)

年 月 日

大学(院)名 (機関名)		講 座	
役 職		分 野	
氏 名 (ご署名)	印		
電話番号		Email	

※講座、分野がない場合は空欄にしてください。

※氏名(ご署名)欄は推薦者が自筆でご記入ください。代筆・タイプの場合は選考対象外とします。

※同じ研究室(指導教員)から複数ご推薦される場合は、「推薦順位とその理由書」も同封してください。

※必ず推薦者自らが封筒に入れ密封したものを提出してください。

被推薦者について(人物・将来性についての所見、被推薦者が取り組むテーマの意義等)

継続推薦理由(この1年における研究の進捗、成果、社会貢献、人間的成長と変化について等)

※ 被推薦者が当財団奨学生に採用されて実施した研究成果が論文発表された場合には、その論文別刷(コピー可)の1部を当財団事務局まで送付してくださいようお願いいたします。また、論文には当財団より支援を受けた旨を謝辞欄に明記するよう被推薦者にご指導をお願いいたします。

推薦順位とその理由書

公益財団法人大塚敏美育英奨学財団
代表理事 大塚 一郎 殿

公益財団法人大塚敏美育英奨学財団の奨学金について、以下の通り推薦いたします。

大学(院)名
(機関名)

役職

推薦者氏名

印

2人以上推薦される場合は優先順に理由をご記入ください(1人のみ推薦の場合は不要)。

1位	フリガナ:
	氏名:
	理由:
2位	フリガナ:
	氏名:
	理由:
3位	フリガナ:
	氏名:
	理由:

※ ご記入いただいた「推薦順位とその理由書」は、応募者それぞれの推薦状に同封してください。

⑰ 留学の目的とそれに対する現在の進捗度	
⑱ 昨年度の目標とその達成度	
⑲ 今年度の目標	

② 過去1年の成果及び活動

過去1年間(2022年4月～2023年3月)でどのような成果をあげたか具体的に書いてください。(社会貢献活動・学会発表・論文投稿等を含む1年間の成果及び進展)

※箇条書き不可。成果及び進展が乏しい人は応募できません。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

200

※ 字数制限を超えたものは審査の対象としません。 400字

● 過去1年(2022年4月～2023年3月)の学会発表、論文投稿等の実績
(発表・投稿等の実績がある人は書いてください)

- 例) 国内発表 __ 3 __ 回 (口頭 __ 5、11 __ 月 / ポスター __ 10 __ 月)
- ・国内発表 __ 回 (口頭 __ 月 / ポスター __ 月)
- ・海外発表 __ 回 (口頭 __ 月 / ポスター __ 月)
- ・論文 投稿 和文誌 __ 本 / 英文誌 __ 本 __ 月
- 誌名:
- ・論文 掲載 和文誌 __ 本 / 英文誌 __ 本 __ 月
- 誌名:

※ 雑誌・論文は正式な様式で記入すること

② 資格・特記事項等	日本語能力検定 級(年 月取得)		
	TOEICスコア 点(年 月取得)、TOEFLスコア 点(年 月取得)		
③ 振込先	フリガナ		
	口座名義人		
	銀行・ゆうちょ銀行等の預貯金口座		
		銀行 ・ 信用金庫 ・ 信用組合	本店 ・ 支店 ・ 出張所
	口座番号		

私は、奨学生願書に記入した内容および提出書類に虚偽のないことを、ここに誓います。
また、本申請に関する個人情報を財団が事業の目的の範囲内で第三者に提供することに同意いたします。

署名:

印

印鑑をお持ちの場合は押印してください。

- ※ 出願書類に不備・不明な点がある場合、記載内容に虚偽があった場合には、選考から除外します。
- ※ 採用後、記載内容に虚偽が発見された場合には、採用を取り消します。

☆ 記入上の注意 ☆

- ・ 推薦状以外、応募者本人が日本語もしくは英語の手書きで記入すること。
英語の場合、日本語訳を添付すること(両面不可。様式は問わないが願書の各ページに対応させること)。
- ・ 応募者が使用可能な言語で願書を記入すること(日本語で願書を提出した場合は日本語での面接になります)。
- ・ 黒インク又は黒ボールペンで記入のこと(消せるペン・青インクのペンは使用不可)。
- ・ 固有名詞はすべて正式名称とし、省略は一切しないこと。

なお、ご記入いただきました情報は、当財団の事業を遂行する目的以外には一切使用しません。